

危険予測学習の進め方（例）－ 減速した車両の左側を追い抜く危険 －

学習内容	指導上の留意事項等
<p>①交通状況の読み取り (個人～発表)</p>	<p>この絵はどんな場面だと思えますか。絵を見て考えられることを発表してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自らが自転車運転者の立場となって、状況を詳しく把握させる。 ・言葉で表現し、発表させる。 (道路の状況、自転車の状況、周囲の車両の状況など) ・児童に次のような状況を読み取らせる。 自転車で交差点の手前を直進している。歩道は狭く通れない。 少し前を走る車が急に減速した。 急ぐ気持ちが強く、減速した車の左側をスピードを上げて、通り過ぎたいと考えている。
<p>②危険の予測・重大な危険の絞り込み (発表～話し合い)</p>	<p>このまま進んだら、どのようなことが起きると思えますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この場面で起こり得る危険・事故をできるだけ多く発見・予測させ、その理由を述べさせる。 ・どのような意見でも肯定的に受容する。 ・車の運転者の立場に立った危険性も予測させたい。 ・目の前の車だけでなく、この車の前に右折する車などがいる可能性もあることを是非取り上げたい。 <p>「ありそうな危険・起こりそうな事故」のなかで、大変だと思う危険・事故を選びましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを用いて、◎や○を付けさせるのもよい。
<p>③回避方法の考察</p>	<p>そのような事故にあわないためにはどうしたらいいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絞り込まれた危険・事故に対し、どのようにしたら危険が回避できるか、話し合わせる。 ・運転者が陥りやすい心理なども考え、ふさわしい行動を話し合わせる。 ・選んだ回避方法の理由を明らかにさせる。
<p>④まとめ</p>	<p>これから気をつけることを自分の言葉で短くまとめましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ワンポイント行動目標」として一言でまとめさせる。 例：「前方の車が減速した時は、徐行・停止する」「車を先に行かせる」等

※ 一斉学習だけでなく、導入後、4、5人のグループに分けて、①②③の活動を行い、最後に、グループごとにまとめを発表させる方法もよい。

※ グループで進める場合は、簡単なワークシートを作成し記入させるとよい。

<p>安全上の望ましい行動</p>	<p>① 前方の車両が減速したり停止したりすることは、その車両が左折する場合の他にも、他の車両や歩行者が近づいてきているなど、何らかのサインであることを知っておく。 この場合、危険を予測し、よく周囲を確認する必要がある。(教則第3章第2節2(4)参照)</p> <p>② 減速した車両に対し、自転車がそのまま直進し、左折する車両に巻き込まれるという典型的な事故が多く発生している。 減速したのは、何らかのサインと考え、スピードを落とし、必要な場合は停止し、左折車を先に行かせる。</p> <p>③ 左折車両はウインカーを出さないときや、曲がる直前に出すことがあることを知っておく。</p> <p>④ 車両の運転者からは、見えにくい死角(車の斜め後ろ方向)があることを知っておく。</p> <p>⑤ 大型車両が左折する場合は、たとえ手前で止まっても、内輪差により巻き込まれる事故の例があり、それを予測する必要がある。</p>
-------------------	---